

コード	10101
作成年度	25年度

基本事業評価表

基本事業名称	魅力ある観光地の創造と推進体制の確立
--------	--------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	魅せる観光のしまづくり

課コード	117	関係課名
主管課名	観光物産課	

基本事業の目的

新上五島町観光物産協会のアクションプランを尊重しながら観光振興を図り、自然豊かな本町の特性を活かした自然体験型交流促進事業を展開することによって、交流人口の増大を図る。産業間の連携を促進すると共に関係団体と協力して観光振興に向けた体制づくりを図り、既存施設の有効利用にも取り組む。

基本事業の成果

成果指標名称 1	観光客延べ数	成果指標名称 2	観光消費額
成果指標の積算根拠	長崎県観光統計	成果指標の積算根拠	長崎県観光統計
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成25年度
目標達成数値	239,000人/年	目標達成数値	4,082,000千円/年

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	人	250,000	239,000	239,000	239,000	239,000
	実績 B		人	196,103	197,591	200,101	229,009	
	達成率 B/A		%	78.4	82.6	83.7	95.8	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	4,700,000	4,082,000	4,082,000	4,082,000	4,082,000
	実績 B		千円	3,325,079	3,359,107	3,406,396	4,244,343	
	達成率 B/A		%	70.7	82.3	83.4	104.0	

1次評価	現状	魅力ある観光地の創造を図るべく、四季折々のイベントや受け入れ体制準備、情報発信事業など新上五島町観光物産協会、及び上五島ふるさとガイドの会と協働して取り組んでいる。平成24年3月にオープンしたホテルマルゲリータの利用客増加と修学旅行や学生団体の受入が増加したことに伴い、観光客延数は前年比14.4%増となった。
	課題	本町の観光動向は、観光統計によると対前年14.4%増となり、東日本大震災の影響による減少から回復が見られ、ツアー客や個人観光客については増加傾向にある。しかし、素通り観光の要素が強いため、本町へ宿泊し観光消費額を伸ばすための観光メニューの充実などへの取り組みが必要である。
	改善	新上五島町観光物産協会と連携しながら、宿泊を必要とする体験やツアーメニューなど観光資源の発掘を強化するとともに平成27年の世界遺産登録を目指す「長崎の教会群」や平成25年度から始まった「しまとく通貨」による誘客効果を最大限に活用するため旅行会社に対しより一層の働きかけを強化する。今後も、地元受け入れ体制の充実や既存施設の有効利用を図るなど、観光案内板や誘導板の整備充実に努める。
2次評価		ホテルマルゲリータの利用客増加と修学旅行や学生団体の受入が増加したことにより観光客延数・観光消費額とも増加している。今後も世界遺産登録やしまとく通貨など魅力ある観光地としての情報発信などのPR活動に努めるとともに、受入体制の整備充実に努めていくこと。
3次評価 住民等の意見		
町の対応		

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	101010101	新上五島町観光物産協会補助事業	観光物産課	15,250千円	(途中) 事業内容を見直して継続
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				15,250千円	